

と も に あ ゆ む

令和7年2月21日（金）

日頃より、本校の進路支援に関してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。第3号の「とものにあゆむ」では、「卒後支援について」「同窓会を知っていますか?」「高等部2学年現場実習（体験実習）」「小学部高学年ブロック進路説明会」についてお伝えします。

学校では3学期は卒業・進級に向けてまとめをしている時期です。進路についていろいろな情報を得て、ご家族で進路について考える機会になればよいと考えております。

卒後支援について

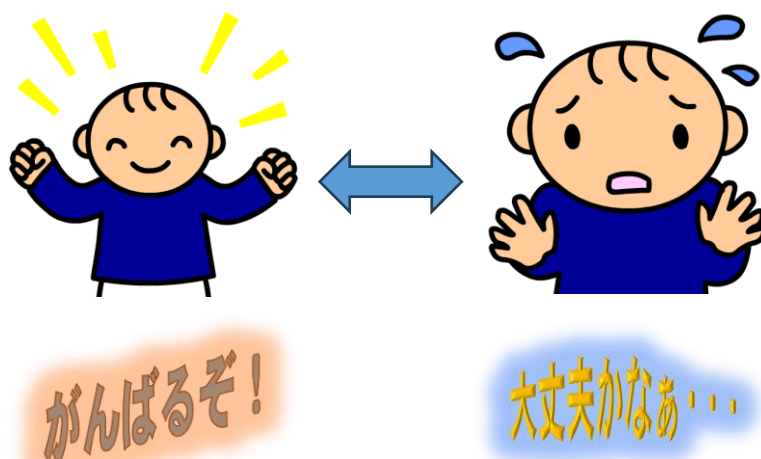
「学生から社会人へ」。新たな生活に希望や期待を抱く一方、環境や生活に大きな変化が起こり、不安や心配も…といった感覚は、大人なら誰もが経験したことでしょう。特別支援学校には「環境の変化が苦手」「慣れるまでに時間が掛かる」といった生徒も多く在籍しているため、卒業後の進路先へのスムーズな移行や地域生活の定着には、更に難しさがあると言われています。

帯広養護学校では、高等部卒業生が進路先で安定した社会生活を送るために、卒業後3年間を目処に「卒後支援」を行っています。その取組の一部ですが、進路コーディネーターが進路先である事業所を訪問し、卒業生の就労や生活などの現状を確認しています。本人と面談させていただいたり、職員の方にお話を伺ったりする中で、頑張っていることや課題になっていることなどを把握するよう努めています。

卒後支援する中で、もし卒業生が困っていたり事業所が支援の仕方に悩みがあったりする場合は、在学中の支援方法や改善に役立ちそうな情報を提供するなど、サポートできるような体制をとっています。

また、在学中の支援が効果的に働いて卒業後もうまくいっている例や、逆に「SNSトラブル」や「生活習慣の乱れ」など卒業生が実際に直面している課題などを学校職員で共有し、在校生への指導や授業にもフィードバックできるように心掛けています。

PTA 総会でお伝えしましたとおり、卒後支援で卒業生を訪問する旅費については PTA 会費より支出いただいております。今後も、卒業生にとっても在校生にとっても有意義な卒後支援に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



（文責：高等部 佐々木基）

同窓会を知っていますか？

「同窓会」は、卒業生同士の親睦を図ることや卒業後の情報交流を目的としており、現在は45名が会員です。卒業生は同級生や先輩と交流をすることで会員同士の横のつながりができ、保護者は先輩たちから今後の参考になる話を聞いたり、悩みを相談したりする場となっております。

同窓生が集まる「同窓生のつどい」は、年1回、7月下旬の金曜日に実施しています。今年度も「同窓会入会式」「同窓会総会」「同窓生の交流（ゲーム、近況報告）」「茶話会（保護者）」を行いました。どれも充実した内容となり、久しぶりに友達や先生との再会を喜ぶ様子も見られました。

会員の皆さんには年に1回会報「たいようさん」を発行しており、「同窓生のつどい」の様子や同窓生の近況を知る良い機会となっております。

同窓会は学校を卒業してから仲間と会える大切な機会です。在学中から同窓会について知っていただき、卒業時には入会を検討していただければと思います。

高等部3年生と中学部3年生（他校へ進学する方）へ「同窓会」のご案内をしていますのでご検討ください。途中からの入会も可能なので学校へご連絡ください。



参加者で記念撮影



入会式「よろしくお願いします」



先生方との交流



高等部2学年現場実習（体験実習）



今年度より、高等部2学年では実際の事業所で作業や活動を体験する現場実習（体験実習）を実施しています。現場実習（体験実習）は事業所での体験をととして、生徒及び保護者の方が卒業後の生活や進路選択について、具体的に考えを深めることを目的としています。実習先は、生徒または保護者が見学した事業所から希望先を選定し、事業所と調整の上決定します。期間は10月から2月を基本に事業所との相談により、1～3日間で設定し、自宅から通います。

実習中、生徒たちはいつもとは異なる環境の中、緊張した面持ちで作業や課題に取り組んでいましたが、慣れてくるといつものように笑顔で活動に取り組むことができました。卒業後の生活への見通しをもつとともに、これまでの学習の成果を現場実習（体験実習）の中で確認し、今後の課題を明確にできたのではないのでしょうか。

（文責：高等部 村上豪）



帯広はちす園



オークル



帯広はちす園



屈足わかふじ園



えがお



清水旭山学園通所ホーム



テサフィオ



帯広やわらぎ園

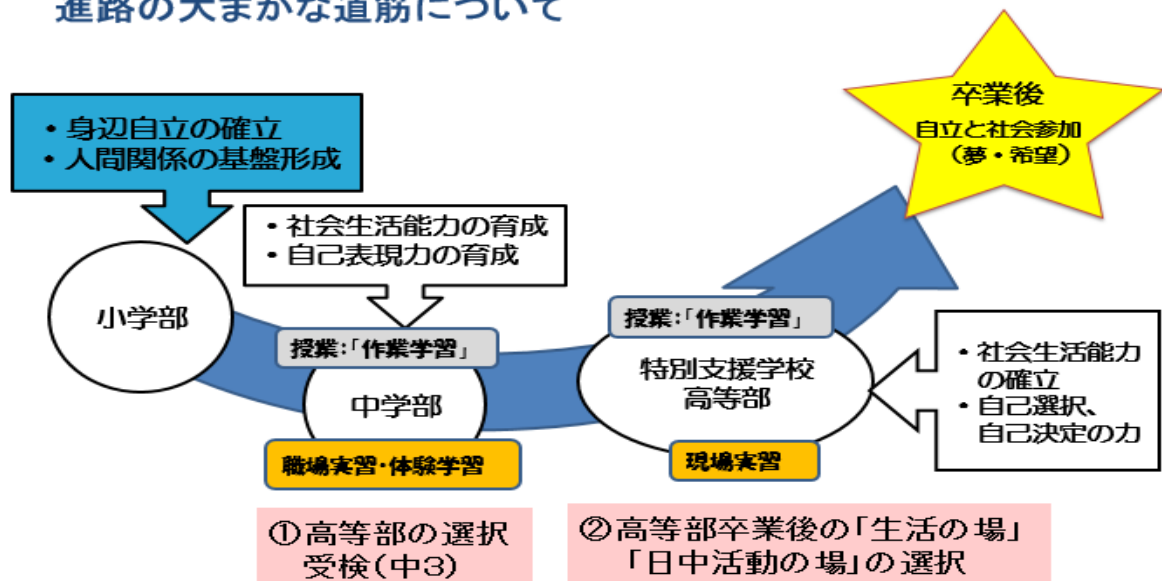
小学部 高学年ブロック 進路説明会

11月5日の授業参観日に合わせて、高学年ブロックの保護者の方を対象に進路説明会を行いました。

進路説明会では①「学校卒業後の進路について」②「高等部の選択について」③「中学部での学習について」④「今、身に付けておきたい力について」を説明しました。

①では、学校卒業後、成人したときにどのような日中活動の場（就労継続支援A型、B型、生活介護など）があり、生活の場（自宅、グループホームなど）にはどのようなものが考えられるか、仕事を行うのであればどのような力が必要なのかを説明し、そこに向かっていくためには小学部段階から準備をしていく必要性を説明しました。

進路の大まかな道筋について

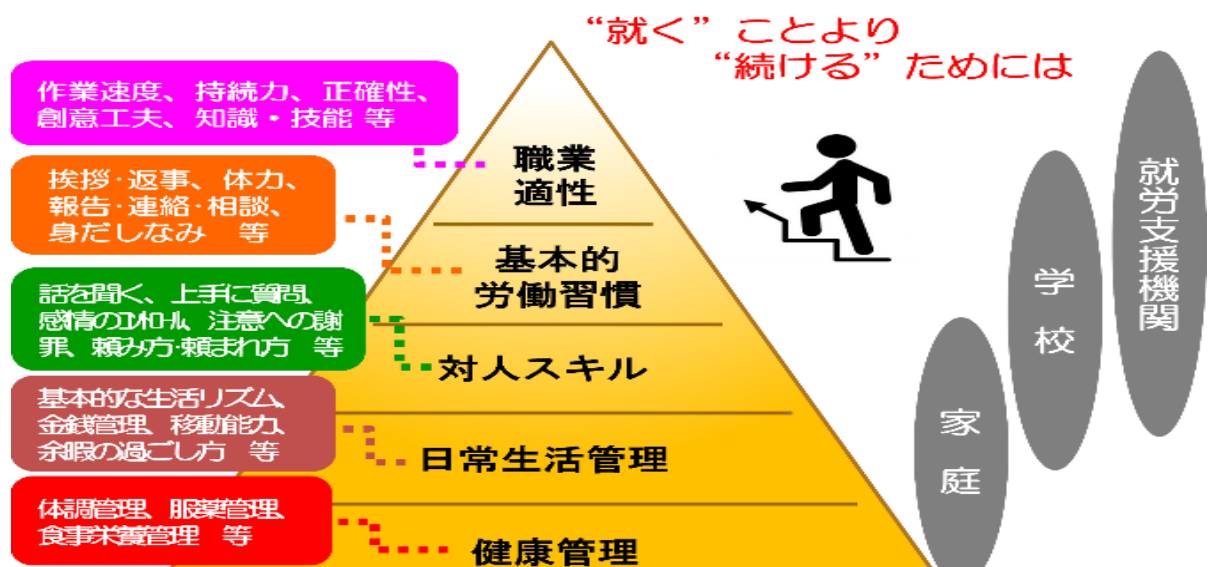


②では、小学部で進路を考えるとときの視点の一つとして「高等部の選択」があり、十勝管内の高等部について「高等部のしおり（十勝圏内）」を用いて教育課程や学校の特色について紹介しました。

③では、小学部と中学部の学習の違い、主に作業の学習についてスライドを使って説明しました。

④では、小学部の今の段階でできること、身に付けておきたい力について説明しました。

将来どのような進路に進むにしても健康管理や、日常生活管理といった力は大事になってくるので、小学部の段階ではそのような基礎的な力を身に付けていくのが大事です。



そのためには、今できていることを少しずつ発展させていって、いろいろなことに挑戦したり、お手伝いをしたり、興味関心を広げていったり…といったことが大事になってきます。

将来を見据えたときに必要な力は何かを考え、今から「できそうなこと」を学校と家庭の両輪で経験を重ねて、一つずつ、一つでも多く「できること」を増やしていけたらと思います。

卒業後の豊かな生活は、現在の小さな「できた」の延長線上にあります。時間を要することではありますが、継続は力なりです。一緒に子どもたちの力につなげていきましょう。

（文責：小学部 吉田）

小学部で身に付ける力について

